

不慮の事故防止に向けた運用事項

平成25年4月1日制定

平成27年7月1日改正

公益社団法人 日本パワーリフティング協会
組織委員会

平成17年3月1日に作成した「大会会場における不慮の事故対応等に関するガイドライン」において、大会主催者又は主管協会が取り組むべき事項又は配慮すべき事項を幾つか列挙し、これを踏まえて、具体的な運用を図るために、同年4月1日、この「不慮の事故防止等に関する運用事項」を定めて、関係者に案内した。

今般、平成25年4月1日付け公益法人化移行に伴い、全日本大会に限らず、ブロック大会及び地方大会、更に、実業団大会、大学生大会及び高校生大会における選手及び大会会場への入場者の事故防止とトラブル回避に向け、各都道府県協会及び各加盟団体での現実的な運用の再徹底を図るべく、今回、下記のとおり、重ねて注意喚起事項を周知するものである。

1 開催要項での注意喚起

・『注意事項』の欄を設け、少なくとも次の事項を記載する。

- ①大会会場内では、安全上の注意事項を遵守すること。
 - ②競技エリア及びウォーミングアップエリアに、選手、セコンド及び大会運営関係者以外は立ち入らないこと。
⇒大会当日、大会主催者又は主管協会は、競技エリアでは卓球用フェンスを置く等して、進入禁止エリアの表示を明確にすること。
 - ③放送器材の周辺には、大会運営関係者以外は立ち入らないこと。
- 等

※会場に応じて修正したり、必要な事項を追加したりしても良い。

2 大会会場での注意喚起

(1) 注意喚起用チラシの作成と配布

- ・注意喚起用のチラシを作成し、受付けで大会プログラムとともに、選手、役員を含め入場者全員に配布する。
- ・チラシへの記載事項の一例を以下に示す。

- ①体育館等の施設から提示されている注意事項、お願い事項を遵守すること。
- ②競技エリア及びウォーミングアップエリアに、選手、セコンド及び大会運営関係者以外は立ち入らないこと。
- ③放送器材の周辺には、大会運営関係者等、必要と認められた者以外は立ち入らないこと。
- ④会場内では走らないこと。小さなお子様には目を離さないよう注意をしていただくこと。

⑤ウォーミングアップ場での安全確保のために、次の事項を守ってください。

- ・選手、セコンド、大会運営関係者以外は立ち入らないこと。
- ・ウォーミングアップは、必ずバーベルにカラーを装着して行うこと。
- ・外したバーベルは乱雑にせず、整頓して置くこと。
- ・重ねたバーベルを踏んだり、その上に立ったりしないこと。

⑥その他、アナウンスされる注意事項を遵守すること。

等

※会場に応じて修正したり、必要な事項を追加したりしても良い。

(2) 注意事項のプログラム等への掲載

- ・チラシに代えて、開催要項及び大会プログラムに選手はじめ補助係、スタッフ、観客等の会場内関係者に向けた所定の注意事項を掲載してもよい。
- ・全日本大会での記載内容は別紙に例示する。尚、全日本大会開催マニュアル資料編には掲載済みとなっている。

(3) アナウンスによる注意喚起

- ・放送係は、開会式、競技の合間、休憩時間等を利用して会場内の注意喚起事項をアナウンスして、入場者全員に周知する。

※チラシを受け取っていない入場者やチラシを読まない入場者がいることに配慮するため。

- ・放送内容の一例を以下に示す。

①体育館等の施設から提示されている注意事項、お願い事項を遵守すること。

②競技エリア及びウォーミングアップエリアに、選手、セコンド及び大会運営関係者以外は立ち入らないこと。

③放送器材の周辺には、大会運営関係者以外は立ち入らないこと。

④会場内では走らないこと。お子様には目を離さないよう注意をさせていただくこと。

等

3 大会時の救急体制

- ・事故防止のために、上記の注意喚起を行う他に、万一の場合を想定して、少なくとも以下の救急体制を整えておく。

①会場に医師、看護師あるいは救急救命士等の医療班が待機していること。

②上記①が無理な場合、大会運営スタッフの中に救命講習修了者等の心肺蘇生及び自動体外式除細動器（AED）の取り扱いに熟知した者を配置すること。

③AEDが設置されている施設を選ぶこと。それができない場合は、レンタル手配をすること。

④救急指定病院を把握しておくこと。大会運営スタッフの中で救急車等を手配する担当者を決めておくこと。

以上

安全に関する注意事項

(公社) 日本パワーリフティング協会

パワーリフティング競技は極限の重量を扱うため、大怪我をする等の不測の事態が発生する危険があります。選手、役員、スタッフ等の大会関係者全員は、このことを十分に理解した上で安全確保に努めるとともに、競技会場及びウォーミングアップ場においては、下記に例示する注意事項を遵守して大会に臨むようお願いいたします。

《選手の注意事項》

- ① カラー未装着が原因で落下したプレートによる怪我
⇒ウォームアップの場合も、必ずカラーを取付けて実施すること。
- ② スーツ類の破れによる怪我
⇒スーツ類の劣化や縫い目等について、自己チェックを徹底すること。
- ③ スクワット及びベンチプレスのバーベル落下による怪我
⇒選手は慎重にスタートポジションを取ること、シャフトをしっかり握ること。
特に、スクワット時のバーベル落下は、選手ばかりか補助員も巻き込んだ大きな怪我につながるおそれがあるので、選手は試技途中で立ち上がれない場合でも、絶対に後ろへ投げ出さないこと。必ず肩に担いだままで、補助員の手助けを借りて立ち上がること。
- ④ デッドリフトのフィニッシュ後半での怪我
⇒ダウンの合図後に足先へプレートを落下させないよう、スタンスに注意すること。
- ⑤ 当日、体調不良による怪我
⇒安全を優先して、棄権する勇気も必要です。

《補助員の注意事項》

- ① スクワット及びベンチプレスの挙上失敗に伴う怪我
⇒外したプレート等は、つまずいたりしないように、足元付近には絶対に置かないこと。又、常にバーベルの落下を想定して、選手の動きを見ながらしっかりと補助の構えを取ること。
特に、ベンチプレスで万一の場合の補助動作では、プレート内側直近部分のシャフトを絶対に持たないこと。必ず、シャフトの中央部分やプレート外側部分又はプレート自体を持つこと。
- ② ベンチプレスのバーベル受け渡しの不手際による怪我
⇒センター補助は、選手にバーベルを確実に受け渡しができるように、手を離す際には慎重に行うこと。
- ③ デッドリフトの後方転倒に伴う怪我
⇒センター補助は、選手と一緒に倒れることを避けるために、腰を落として補助の構えを取り、選手の動きをよく見ること。

《その他の注意事項》

- ① 会場設営時や撤収時
⇒プレート、ラック等の重量物運搬中に、手指、足、腰等に怪我をするおそれがあります。十分に注意して作業を行うこと。大会終了後は、疲れているので、慌てずに慎重に行うこと。
- ② 見学、応援時
⇒ウォーミングアップ場では、器具周辺から離れて見学し、足元に注意すること。
- ③ 会場内全体
⇒大会会場に掲示されている施設利用上の注意事項、指示事項、禁止事項等に従うこと

★大会期間中は傷害保険に加入しています。万一、会場内で怪我をした場合は、速やかに大会事務局又は大会実行委員長に申し出て下さい。大会終了後又は通院治療後でも構いません。

★怪我とは別に、気分が悪くなったり、体調を崩したりした場合は、休日診療先を案内しますので、遠慮なく大会事務局に申し出て下さい。

以上